

未来の扉を開く！小中高生プログラミング講座業務委託 仕様書

1 委託業務名

未来の扉を開く！小中高生プログラミング講座業務委託

2 業務目的

静岡県内の小・中・高生を対象に、デジタルリテラシーの基礎としてプログラミング体験を提供するとともに、「次世代エンジニア育成コンテスト」への作品応募を支援することで、将来のデジタル人材育成およびクリエイティブな思考の醸成に資することを目的とする。

3 委託期間

契約締結日から令和 8 年 12 月 25 日（金）まで

4 業務内容

(1) 実施計画書・実施スケジュール等の作成

受託者は、具体的な実施内容を企画・検討し、(3)に係る実施計画を作成し、提案すること。また、採択決定後は、県と協議のうえ業務計画書（様式第 1 号）及び実施スケジュール等を確定し、県の承認を得るものとする。

受託者は、県の承認を得た計画に沿って事業を実施する。

(2) 業務の運営管理

業務実施に必要な体制構築と要員配置を行ったうえ業務を遂行すること。また、業務遂行に必要な体制図を作成すること。なお、県との調整・確認の結果、修正が必要と判断された場合は、適切に対応すること。

(3) プログラミング講座

静岡県内の小・中・高生を対象としたプログラミング講座への参加者を募り、講座を実施すること。

ア 対象

次の 3 つのカテゴリーに分けて実施する。（保護者同伴可）

(ア) 小学生（原則 5・6 年生）

(イ) 中学生

(ウ) 高校生

イ 募集人数

各カテゴリー 20 人（3 カテゴリー合計で最大 60 人とする。）

ウ 実施回数等

- ・各カテゴリー全 2 回（2 回は近い日程での実施が望ましい。）
- ・全 2 回のうち 1 回（第 1 回、第 2 回のいずれでも可）は、令和 8 年 7 月 25 日（土）にグランシップ（静岡市）にて開催される「TECH BEAT Shizuoka 2026」会場内において、3 カテゴリー合同（一斉）で実施する

こと。日程の中に、「TECH BEAT Shizuoka 2026」に参加するメニューを入れること。

- ・残りの1回については、夏季休業中とし、受託者が任意の日程を提案すること。カテゴリー（小・中・高）ごとに別日程・別会場で実施しても、3カテゴリーを同日・同会場で一斉に実施してもよい。
- ・講座1回あたりの時間数は特に定めない。受託者は、カリキュラムの内容に合わせて提案すること。
- ・講座内ですべてを完成させる必要はなく、講座でおおよその目安を形作り、残りを家庭で継続して制作できるような構成とすること。

エ 会場

- ・会場を受託者が確保し開催すること（7月25日のTECH BEAT会場を除く。）。
- ・カテゴリーごとに別日程で実施する場合は、各カテゴリー20人以上を収容できる会場、合同（一斉）で実施する場合は、最大60人が同時に受講できる会場を確保すること。
- ・全県から受講生が参加しやすいよう、主要な鉄道駅周辺での実施が望ましい。

オ 設備

- ・講座で使用するパソコン、無線LANルーター等の機器やバックアップのモバイルルーター等必要な物は、受託者が用意すること。ただし、パソコンに限り受講生の持ち込みも認めるものとする。

カ 講座内容

- ・各カテゴリーとも静岡県産業イノベーション推進課が実施予定の「次世代エンジニア育成コンテスト」と連携し、同コンテストへの作品提出を目標としたカリキュラムとすること。なお、具体的な連携方法は静岡県産業イノベーション推進課及び高校教育課と協議のうえ決定すること（高校生に関しては、AI技術（生成AIの活用やデータ分析等）を課題解決にどう組み込むかについての内容も含めること。）。
- ・プログラミング初心者を中心に主な対象者とする内容とすること。
- ・使用するプログラミング言語は限定しないが、カテゴリーごと望ましいものを選択すること。

キ 研修の実施

- ・講師のほか、プログラミングやファシリテーション、講座運営等に熟知した数名の大学生・専門学校生・企業担当者等（以下「メンター」という。）がサポートに入る体制を検討すること。また、受託者は、参加するメンターについて、本ワークショップに必要なスキルを獲得していることを、発注者に対して証明すること。証明の方法は、事前の研修実施の証明や同様のワークショップでのサポート経験を複数有していること等によること。なお、提案時点で参加するメンターが確定している必要はないが、どういった者がファシリテーターとして参加する予定かについて

ては提案に含めること。

- ・講師及びメンターは、プログラミングに関する知見を活かし、連携した事業の推進を図ること。また、講師及びメンターから、アンケート等により、次年度以降の事業に反映させることができる意見を聴取すること。
- ・参加者からの問い合わせへの対応、出欠の確認、当日のタイムスケジュール等の連絡など参加者との連絡調整を行うこと。
- ・会場にて講座実施の準備を行うこと。
- ・当日の受付、講座の実施、会場の片付けを実施すること。当日はメンターがサポートできる体制を整えること。
- ・当日に参加者等から緊急連絡を受け取ることができる体制を整備しておくこと。
- ・講座内容の記録のため、写真撮影を行うこと。撮影した写真は、県担当者の要請に応じて提出すること。また、写真の撮影及び使用について講座参加者からの許諾を講座申込時に得ること。

コ 告知

チラシや Web 広告を活用して広く県内対象者へ告知する。なお、デジタル人材育成を促進し、裾野を広げるため、プログラミングに関心をもってもらえる内容になるよう工夫すること。

5 成果物（電子データ 1 部）

契約最終日までに、業務報告書（様式第 2 号）を提出し、承諾を得るものとする。業務報告書には、研修の実施概要、参加者の情報、アンケート結果、写真等を記載すること。

6 留意事項

- (1) 本業務の実施にあたっては、関係する諸法規及び条例等を熟知の上、業務遂行にあたること。
- (2) 業務実施にあたっては、県と連携体制を構築し、十分な協議を行った上で実施すること。
- (3) 業務内容については、受託者が本仕様書及び企画提案書の内容を遵守すること。
- (4) 業務を円滑・適正に運営するための組織体制、人員配置を行うこと。
- (5) 製作物（撮影データ、業務報告書等）の著作権は県に帰属する。受託者は第三者の著作権等の権利を侵害していないことを保証すること。
- (6) 業務実施において、個人情報等の保護すべき情報（以下、「個人情報等」という。）の取扱に万全の対策を講じること。受託者（講師及びメンターを含む。）は、本業務に関連して知り得た個人情報等を第三者に開示または漏洩してはならない。また、業務遂行の目的以外に使用してはならず、業務終了後もこの義務は継続するものとする。

- (7) 当該業務の実施に当たり、問題等が発生した時は、県に遅滞なく報告するとともに、誠実な対応を行うこと。
- (8) 受託者は、事業完了後5年間、本事業に係る会計帳簿及び証拠書類を、県の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存しておかなければならない。
- (9) 委託業務を遂行する上で必要となる一切の経費は、受託者が負担すること。
- (10) 本業務の実施にあたり、本仕様書に記載の無い事項またはやむを得ない事情により契約内容の変更を行う必要が生じた場合の変更事項については、県と協議の上、決定するものとする。
- (11) 本業務の全部又は主要な部分を一括して第三者に委託することはできない。業務の一部を再委託する場合は、再委託する業務の内容及び必要性等を県と事前に協議し、承諾を得ること。

様式第 1 号

委託業務実施（変更）計画書

- | | | |
|---|-----------|--------------------------------------|
| 1 | 委託業務の名称 | 令和 8 年度
未来の扉を開く！小中高生プログラミング講座業務委託 |
| 2 | 契約年月日 | 令和 年 月 日 |
| 3 | 契約期間 | 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 |
| 4 | 業務期間 | 着手 令和 年 月 日
完了 令和 年 月 日 |
| 5 | 事業完了予定年月日 | 令和 年 月 日 |

上記のとおり実施（変更）いたします。

令和 年 月 日

静岡県知事 様

住 所
商号又は名称
氏 名

様式第2号

委託業務完了報告書

- | | | |
|---|---------|------------------------------------|
| 1 | 委託業務の名称 | 令和8年度
未来の扉を開く！小中高生プログラミング講座業務委託 |
| 2 | 契約年月日 | 令和 年 月 日 |
| 3 | 契約期間 | 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 |
| 4 | 業務期間 | 着手 令和 年 月 日
完了 令和 年 月 日 |
| 5 | 事業完了年月日 | 令和 年 月 日 |
| 6 | 結 果 | |

上記のとおり報告いたします。

令和 年 月 日

静岡県知事 様

住 所
商号又は名称
氏 名

令和 8 年度未来の扉を開く！小中高生プログラミング講座業務委託
企画提案の評価基準

プロポーザル審査は、企画提案書、見積書等の関係書類及び参加者からの説明等について、以下の評価基準に基づき実施する。

評価項目	評価基準
事業の企画性 (25 点)	①事業の目的を十分に理解し、その意図に合致した的確な企画提案となっているか ②仕様書の内容を多角的に検討し、具体的な実施方法が示されているか。また、事業を円滑に遂行するための手法が的確に示されているか ③各講座の受講者の学習状況やプログラミングスキルに配慮し、初心者でも不安なく、高いモチベーションを維持しながら受講できる工夫がなされているか ④「次世代エンジニア育成コンテスト」への作品提出を一つの目標として見据え、提出を促すための具体的な指導や支援を行う内容となっているか ⑤提案者独自の知見や強みが活かされており、事業目的をより高い水準で達成するための優れた提案内容となっているか
事業の実効性 (20 点)	①過去に類似事業の履行実績があるなど、当該業務に精通しており、十分な成果が期待できるか ②業務を実施するにあたり、適切な実施体制及び円滑な事業遂行を可能とする事業実施スケジュールが確保されているか ③講座をサポートするメンターについて、具体的な選定基準や求められる知見、能力の向上を図るための研修プログラム等が明確に示されているか ④講座について、県内の対象者へ広く情報を届けるための、具体的かつ効果的な告知および受講生の確保に向けた方策が示されているか
事業の経済性 (5 点)	①業務内容や規模に照らして、各経費項目が適正かつ効率的な見積りとなっているか